

◆用語集（五十音順）

き	機械警備	施設に各種のセンサー等を設置し、警備業者の監視センターで侵入者や火災等の発生を監視し、異常があったときには直ちに警備員が現場に駆け付ける警備方法です。
	機能移転	施設の機能を他の場所に移転することです。
	機能廃止	利用価値の低下した施設や当初の目的を達成したと判断される施設等の供用をやめることです。
こ	更新	現状存在する施設や設備の全部または一部を撤去し、新しい施設や設備を設置することです。
さ	サウンディング調査	市有地などの有効活用に向けた検討にあたって、活用方法について民間事業者から広く意見、提案を求め、「対話」を通じて市場性等を把握する調査です。
し	指定管理者制度	多様化する住民ニーズに、より効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理・運営に民間の能力を活用し、住民サービスの向上や管理の効率化等を図ることを目的として、長岡市が指定した民間事業者等（指定管理者）に、公共施設の管理運営等を委ねることができる制度です。
	集約化	既存の同種の公共施設等を統合し、一体の施設として新たに整備、または一方の施設を廃止することです。
	受益者負担	特定の者がサービスを利用して利益を受ける場合に、その受益の限度において受益者（利益を受ける側）から使用料や手数料などとして、サービスに掛かる経費を負担してもらうことです。
	常駐警備	施設に警備員が常駐し、出入管理、巡回、開閉館管理、鍵の管理などの警備業務を行います。
た	大規模改修	改修工事において、数十年に一度、施設全体に対して実施する改修工事です。施設の長寿命化に加え、バリアフリー対応など機能向上に資する内容を含みます。
	耐震改修	1981年（昭和56年）6月以降に建てられた建物に対して耐震診断調査を行い、耐震性に問題がある建物に適切な補強を施し、耐震性を現行の耐震基準に適合させることです。
	耐震基準	建築基準法に定められている建物の耐震性能に関する基準のことです。
	多機能化	既存の施設に、新たに異なる種類の機能を持たせることです。
ち	長寿命化	予防保全を行ったり、機能を社会的要求に合わせて改修したり

		することにより、建築物の目標使用年数を、構造躯体の物理的な寿命（構造耐力上実質的に耐えられる年数）に近づけることです。
ひ	PDCA サイクル	Plan（計画）・Do（実行）・Check（評価）・Action（改善）を繰り返すことによって、継続的に改善していく手法のことです。
ふ	複合化	既存の異なる種類の公共施設等を統合し、これらの機能を独立した形で一つの建築物内に設置することです。
	複合施設	同一の建築物内等に複数種類の機能が設置されている施設のことです。
	複式学級	2つ以上の学年を1つにした学級のことです。
ほ	法定耐用年数	資産の種類・構造・用途などに応じて定められた税法上の耐用年数（建築物の寿命としての年数）のことです。減価償却費等の計算に用います。
れ	劣化状況調査	建築基準法の規定に基づき、建築物の敷地、構造等の点検を実施することです。